

2025年2月3日

各位

東京大学史料編纂所附属  
画像史料解析センター・古写真研究プロジェクト  
JSPS 科研費：基盤研究(B) 23K25351

### ワークショップの開催について（ご案内）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター・古写真研究プロジェクト、および JSPS 科研費：基盤研究(B)「幕末明治期古写真の調査とその解析・復元・保全を総合的に捉える写真史学の構築」(23K25351)では、昨年度からの継続事業として、プログラムを一部改訂し、内容をさらに充実させたワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」を開催いたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ご参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。

### 記

企画名称： ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」

開催趣旨： 博物館に勤務する学芸員等の専門職員を対象に、写真資料の技法識別と取り扱い・保存に関する研修を実施し、写真を収蔵する機関に所属する担当者に求められる基本的な知識・技能を養うことで、写真の整理・保存と学術資源化の作業に従事するための能力向上を目指す。

対象者： 博物館に勤務する学芸員等の専門職員、または同様の職務に従事する方

実施期間： ①【講義科目】2025年11月28日（金）、29日（土）  
（予定） ②【実技実習科目】2025年12月1日（月）、2日（火） 合計4日間

実施方式： ①講義科目：対面開催およびオンライン配信  
②実技実習科目：対面開催（事前申込制／定員10名程度）  
※申込者多数の場合には、すべての方にご参加いただけない場合がございます。

開催会場： 東京大学史料編纂所（東京都文京区本郷7-3-1）

### [ 備 考 ]

- ・ 開催要項とプログラムは、2025年6月頃公開予定。
- ・ 講義科目および実技実習科目の募集・申込は、2025年9月頃開始予定。
- ・ 講義科目は一般の方も受講可能とし、公開の実施方式については開催要項で通知する。
- ・ 実技実習科目は、講義科目を含む全日程および全科目の受講を修了の要件とし、部分受講は認めない。実技実習科目の受講者は、原則として対面での講義科目の受講を推奨するが、特別な事情がある場合にはオンラインでの講義科目受講も可とする。
- ・ 受講及び配布資料は、無料とする。ただし、受講者の参加に伴う旅費、パソコンの用意や通信に係る費用は、各受講者が負担すること。

現時点では個別のご質問には対応しかねます。開催要項の公開をお待ちください。

昨年度に開催されたワークショップの詳細については、以下の資料をご参照ください。

- ・ 2024 年度ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」開催要項  
[こちら](#)からご確認いただけます。
- ・ 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第 105 号  
「ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」開催報告」（桑田恵里）、  
「ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」に参加して」（遠藤楽子）  
本資料は、2025 年 3 月頃より[東京大学学術機関リポジトリ](#)にて公開予定です。